

<取り巻く環境>

①人口減少

- ・過去10年間で20%減少 【H22】 42,058人 → 【R2】 33,609人
- ・今後10年間で24%減少する見込み 【R2】 33,609人 → 【R12】 25,632人

②通学者の減少

- ・15歳未満の人口は、過去10年間で39%減少 【H22】 4,640人 → 【R2】 2,819人
- ・普通高校の生徒数は、過去5年間で25%減少 【H29】 717人 → 【R3】 531人

③路線の廃止が進行

- 過去3年間で、2路線が廃止 【R2.10 廃止】 檜山海岸線①
【R3.10 廃止】 江差八雲線

④観光入込客数の減少

- 過去3年間で15%減少 【R元】 1,204千人 → 【R3】 1,024千人

現状

1 止まらない利用者の減少

- 人口減少は今後も継続する見込みであり、対策を講じなければ利用者の更なる減少が懸念される。
- 観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり、直近3年間では減少している。
(参考：感染症流行前の3年間では増加 H29→R元：17%増加)
- 今後、乗車人数が、国・道の補助要件を下回る路線が出てくることも懸念される。

2 路線収支の悪化

利用者の減少に伴い路線の収支が悪化し、運行費補助に係る行政負担の増加や、さらなる路線の廃止が懸念される。

課題

広域路線の維持

利用者の減少により路線収支が悪化する中、運行の見直しなどを行い、地域住民の日常生活に必要で、かつ観光客の周遊に不可欠な広域路線を維持する必要がある。